

三木市立地適正化計画策定に関する市民意向調査

単純集計結果

令和5年11月

目次

調査概要.....	1
調査項目.....	1
調査結果の概要.....	3
1. 回答者属性.....	3
問1 あなたの性別.....	3
問2 あなたの年齢.....	3
問3 あなたの職業.....	3
問4 あなたの通勤先または通学先.....	4
問5 あなたの居住地域.....	4
問6 あなたの世帯構成.....	5
2. 三木市での居住歴と居住継続意向について.....	5
問7 あなたの三木市での居住歴.....	5
問8 あなたが三木市に転入した理由（複数回答）.....	6
問9 三木市の住みやすさについて.....	6
問10 三木市で暮らし続けたいか.....	7
問11 あなたが転居・転出する（したい）理由（複数回答）.....	8
3. 三木市の魅力・住みよさについて.....	9
問12 三木市の魅力はどういった点であるか（複数回答）.....	9
問13 あなたにとって「住みよさ」とは何か（複数回答）.....	10
4. 将来の希望や不安について.....	11
問14 人口減少・高齢化の進行により生じる問題に対する不安（複数回答）.....	11
問15 将来どのような場所で暮らしたいと思うか.....	12
5. 日々の生活の場について.....	13
問16 日常生活の中で利用する施設.....	13
6. 三木市の今後のまちづくりについて.....	16
問17 あなたの考える三木市の中心的な場所はどこか.....	16
問18 充実させたい施設 (1) イオン三木店周辺（複数回答）.....	17
問18 充実させたい施設 (2) 三木駅及び本町周辺（複数回答）.....	18
問18 充実させたい施設 (3) 志染駅周辺（複数回答）.....	19
問18 充実させたい施設 (4) 緑が丘駅周辺（複数回答）.....	20
問18 充実させたい施設 (5) 恵比須駅周辺（複数回答）.....	21
問18 充実させたい施設 (6) 市役所周辺（複数回答）.....	22
問18 充実させたい施設 (7) ご自宅周辺（複数回答）.....	23

7. 三木市の公共交通について	25
問 19 公共交通の利便性についての満足度	25
問 20 公共交通の拠点への利便性を高めるために望むこと（複数回答）	25
8. 三木市の防災に関する取組について	26
問 21 防災に関する取組への満足度	26
問 22 自宅周辺の災害リスク・避難所等を確認しているか	26
9. アンケート結果の総括	27
10. 考察	29

調査概要

この調査は、20年、30年先の未来を見据え、土地利用の観点から将来にわたり人口密度を維持し、まちの活力を保ち続けるために策定する「三木市立地適正化計画」の参考とするため、日常生活で感じる思いやお住まいの地域を取り巻く環境の実態について、率直なご意見をお伺いするために行ったものである。

以下に調査方法の概要を整理する。

対象地域	市内 東播都市計画区域
調査期間	郵送日：令和5年8月1日 締切日：令和5年8月22日 ※十分な回収数を確保するため、8月25日までの回収分を分析の対象とした。
調査方法	郵送法（郵送による調査票の配布・回収）とWeb回答の併用
対象者	三木市の東播都市計画区域内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に抽出した3,000名
回収率	34.9%（1,046票回収／3,000票配布） うち、郵送：853票（81.5%）、Web：193票（18.5%） ※別途、「自由意見のみ」が追加で15票届いたが上記の回収率には含めていない。

調査項目

この調査で設定した設問項目や設問意図・回答形式は、以下の通りである。また、問23として「将来にも残したい三木市の良いところや、将来に向けて改善しておきたい三木市の課題」についての自由記述回答を設けた。

問	設問項目	設問意図	回答形式
1	性別	属性把握	単一回答
2	年齢		単一回答
3	職業		単一回答
4	通勤・通学先		単一回答 (県内三木市外の場合、具体的な市町名を記述回答)
5	居住地域		単一回答 (居住する地域が分からない場合、具体的な地区名を記述回答)
6	世帯構成		単一回答 (記述回答「その他」あり)
7	三木市での居住歴	市の強み確認 (方針等への検討材料)	単一回答
8	三木市に転入した理由		複数回答 (あてはまるものすべて)

問	設問項目	設問意図	回答形式
9	三木市の住みやすさ	住み心地確認 (課題・方針等への検討材料、評価指標の候補)	単一回答
10	これからも三木市に住み続けたいか	市または居住地域の弱み確認 (課題・方針等への検討材料)	単一回答 (市内別地域への転居予定・希望の場合、具体的に回答)
11	転居・転出する理由		複数回答 (3つ) (記述回答「その他」あり)
12	三木市の魅力	市の魅力確認 (方針等への反映、評価指標の候補)	複数回答 (3つ) (記述回答「その他」あり)
13	あなたにとっての「住みよさ」とは	市全体の理想像確認 (方針等への反映)	複数回答 (3つ) (記述回答「その他」あり)
14	人口減少や高齢化の進行により生じる問題への不安	人口減少等の影響の市民理解度の確認 (課題・方針等への検討材料)	複数回答 (2つ) (記述回答「その他」あり)
15	理想の居住環境	居住環境の理想像確認 (方針等への検討材料)	単一回答 (記述回答「その他」あり)
16	施設利用の頻度等	施設利用確認 (誘導施設の検討材料)	単一回答
17	三木市の中心	市の中心確認 (課題・方針等への検討材料、誘導区域・誘導施設の検討材料)	単一回答 (記述回答「その他」あり)
18	各拠点周辺に充実させたい施設	各拠点の将来施設充足度確認 (誘導区域・誘導施設の検討材料)	複数回答 (3つ) (記述回答「その他」あり)
19	公共交通の満足度	公共交通満足度確認 (課題・方針等への検討材料、評価指標の候補)	単一回答
20	公共交通に求めること	公共交通の理想像確認 (課題・方針等への検討材料)	複数回答 (2つ) (記述回答「その他」あり)
21	防災に対する満足度	防災に関する市の取組の満足度確認 (課題・方針等への検討材料、評価指標の候補)	単一回答
22	住まい周辺の災害リスク等の把握度	防災に関する市の取組の波及状況確認 (課題・方針等への検討材料、評価指標の候補)	単一回答 (記述回答「その他」あり)

※ 選択肢「その他」等での記述回答は、記述内容が同じ問の他の選択肢にあてはまるものであれば、「その他」等ではなく該当する選択肢を選んだものとして集計した。

調査結果の概要

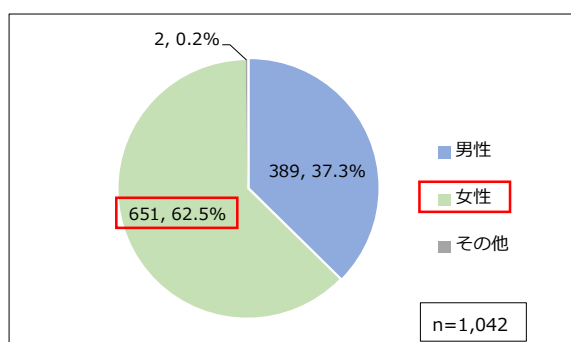
※1 グラフ内の数字は「票数、割合」の表示となっている。

※2 以下、調査結果の概要に掲載している割合（％）は、四捨五入のため、内訳合計が100%にならない場合がある。

1. 回答者属性

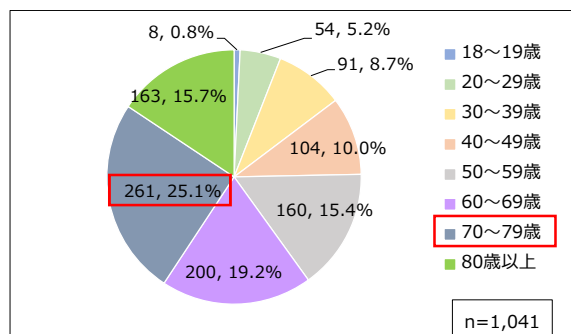
問1 あなたの性別

- ・「男性」が37.3%、「女性」が62.5%となっており、女性が全体のおよそ3分の2を占めている。



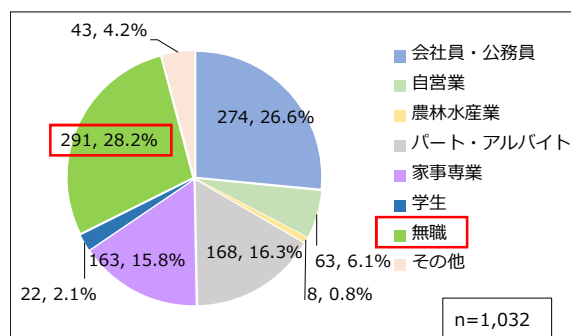
問2 あなたの年齢

- ・「70～79歳」が最も多く25.1%、次いで「60～69歳」が19.2%、「80歳以上」が15.7%となっており、60歳以上の高齢世代が約6割と半分以上を占めている。
- ・若い世代の回答割合は「18～19歳」が0.8%、「20～29歳」が5.2%とわずかである。



問3 あなたの職業

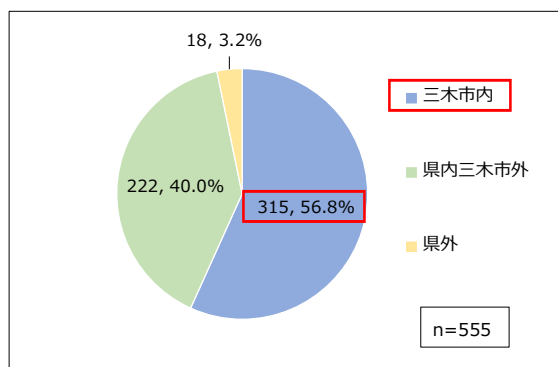
- ・「無職」が最も多く28.2%、次いで「会社員・公務員」が26.6%、「パート・アルバイト」が16.3%となっている。
- ・「農林水産業」が0.8%と、第1次産業従事者の占める割合は少ない。



問4 あなたの通勤先または通学先

(問3で「家事専業」、「無職」以外を回答した方が対象の設問)

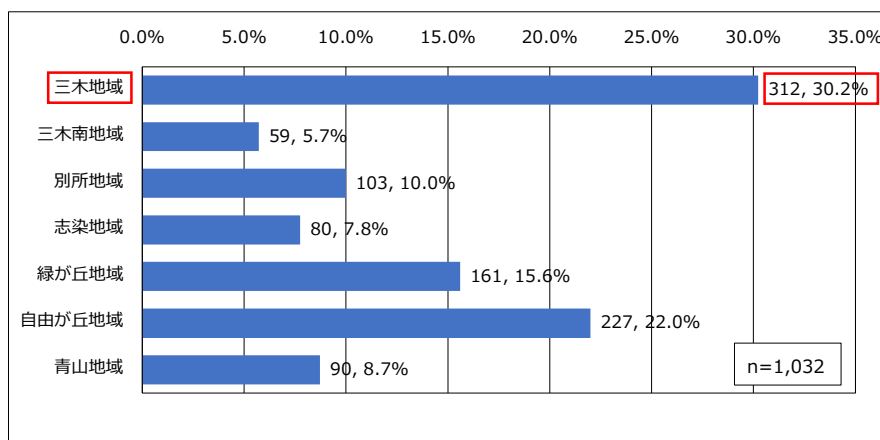
- ・「会社員・公務員」「自営業」「農林水産業」「パート・アルバイト」「漁業」と回答した方(計555名)に、通勤先を尋ねた。
- ・「三木市内」が最も多く56.8%であるが、県内三木市外が40.0%となっており、市外に仕事に行く人も多い。



【県内三木市外の主な回答(記述を一部集約)】

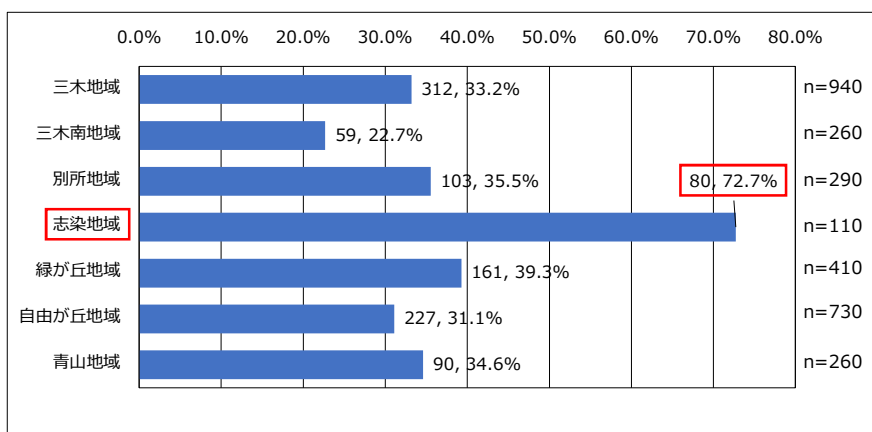
神戸市(101)、小野市(39)、加東市(13)、加古川市(12)、明石市(11)、西宮市(10)、加西市(9)など

問5 あなたの居住地域



- ・「三木地域」が最も多く30.2%、次いで「自由が丘地域」が22.0%、「緑が丘地域」が15.6%となっている。

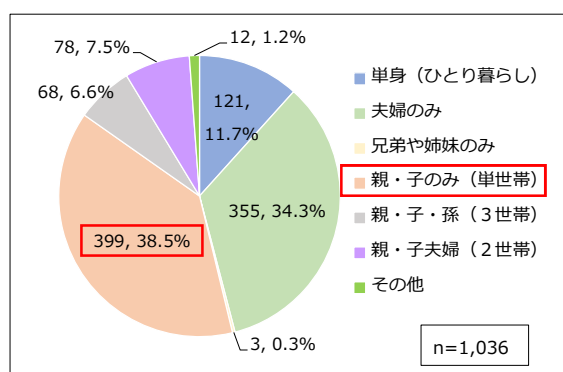
次ページの横棒グラフは、調査対象である7地域へのアンケート調査票配布数に対する返送数をみたものである。



・配布数に対する返送率は、「志染地域」が最も多く 72.7%、次いで「緑が丘地域」が 39.3%、「別所地域」が 35.5%となっている。

問6 あなたの世帯構成

・「親・子のみ(単世帯)」が最も多く 38.5%、次いで「夫婦のみ」が 34.3%、「単身(ひとり暮らし)」が 11.7%となっている。



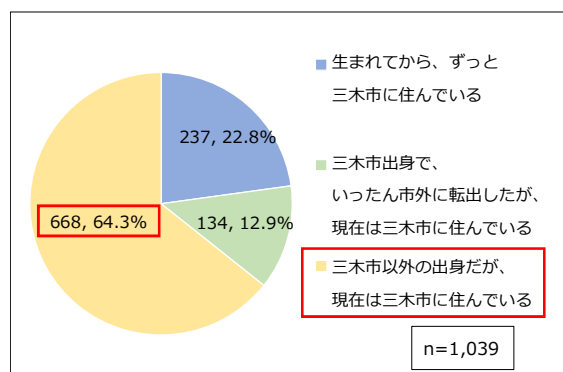
【その他の回答(記述を一部集約)】

孫と(2)、夫婦ときょうだい(2) 親子ときょうだい(2)、夫婦・孫、4世帯

2. 三木市での居住歴と居住継続意向について

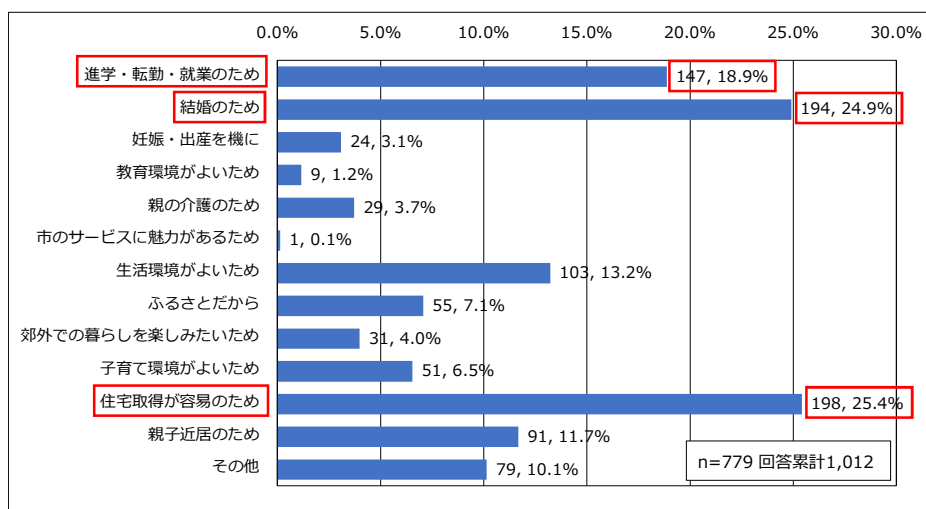
問7 あなたの三木市での居住歴

・「三木市以外出身だが、現在は三木市に住んでいる」が最も多く 64.3%、次いで「生まれてからずっと三木市に住んでいる」が 22.8%となっている。
 ・6割以上が市外出身者であり、一度も三木市を離れたことがない人は2割と少ない。



問8 あなたが三木市に転入した理由（複数回答）

（問7で「生まれてから、ずっと三木市に住んでいる」以外を回答した方が対象の設問）



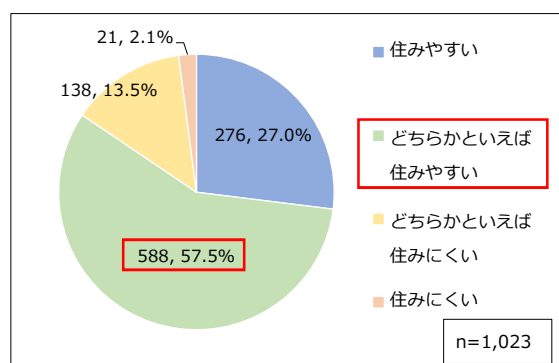
- ・「住宅取得が容易のため」が最も多く 25.4%、次いで「結婚のため」が 24.9%、「進学・転勤・就業のため」が 18.9%となっている。

【主なその他回答（記述を一部集約）】

親と一緒に引っ越してきた（17）、住宅購入のため（13）、地縁・血縁があるため（10）、阪神淡路大震災により転居（6）、家族の仕事の都合で転入（4）、親族の看病・介護等で（3）、その他（11）

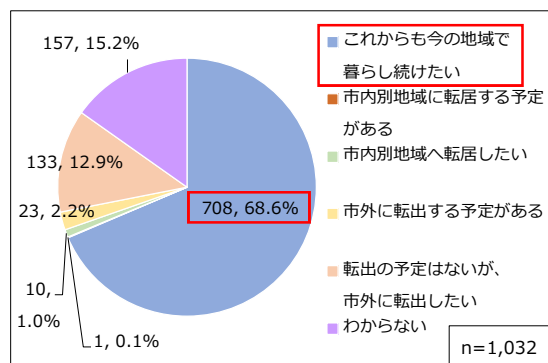
問9 三木市の住みやすさについて

- ・「どちらかといえば住みやすい」が最も多く 57.5%、次いで「住みやすい」が 27.0%、「どちらかといえば住みにくい」が 13.5%となっている。
- ・「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせると 84.5%となり、8割以上が肯定的な評価をしている。



問 10 三木市で暮らし続けたいか

・「これからも今の地域で暮らし続けたい」が最も多く 68.6%、次いで「わからない」が 15.2%、「転出の予定はないが、市外に転出したい」が 12.9%となっている。



【「市内別地域に転居する予定がある」の具体的回答】

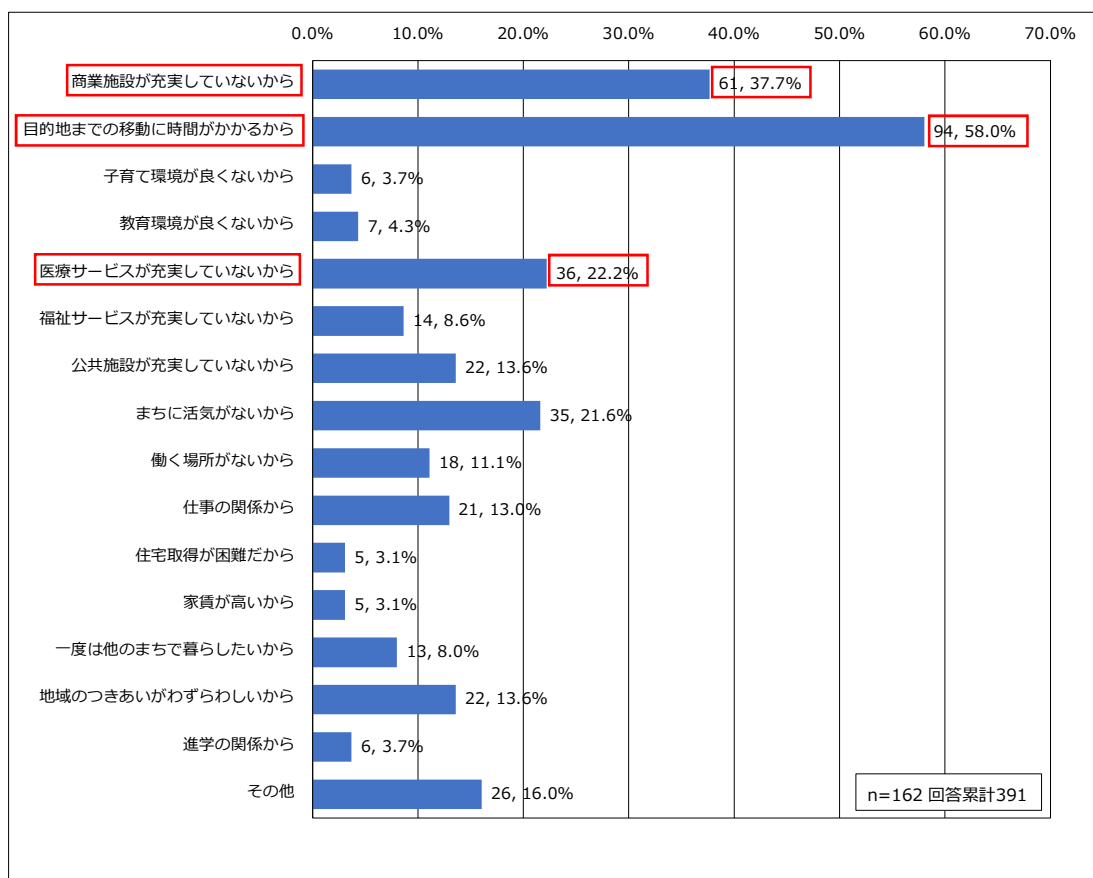
回答なし。

【「市内別地域へ転居したい」の主な具体的回答】

三木、青山、青山か大村、末広、市営住宅、その他（具体的地名なし）（3）

問 11 あなたが転居・転出する（したい）理由（複数回答）

（問 10 で「今の地域で暮らし続けたい」、「わからない」以外を回答した方が対象の設問）



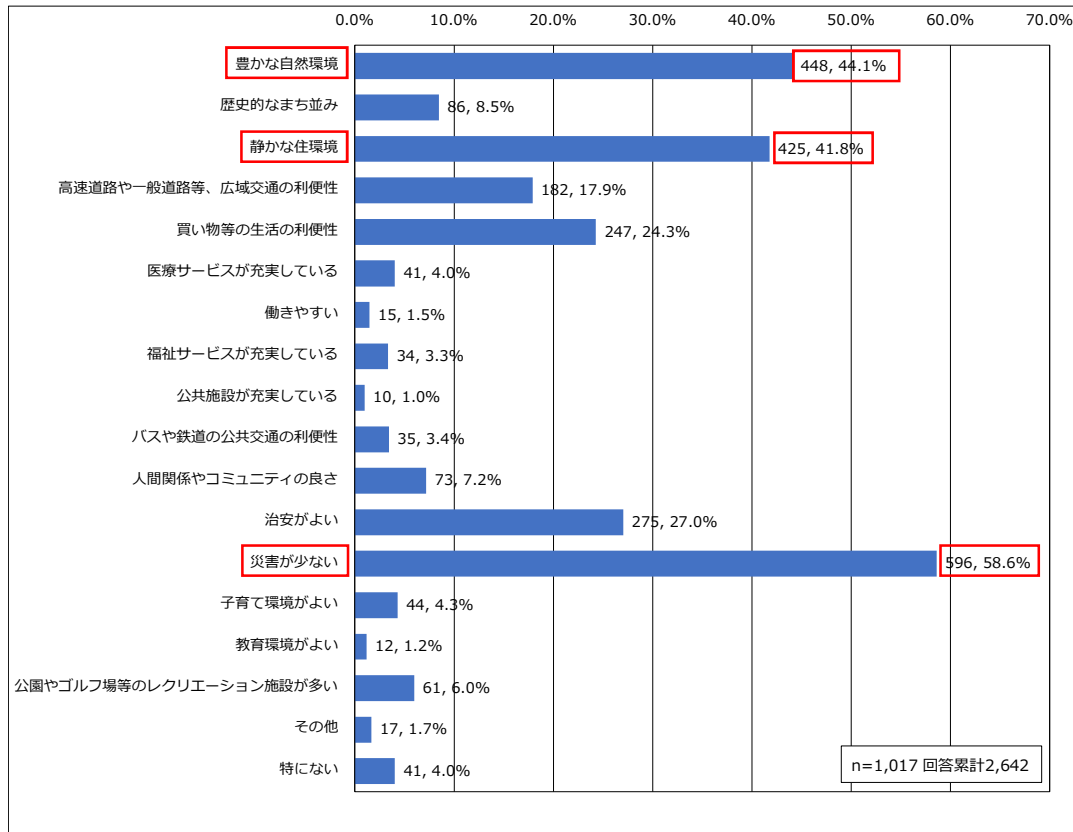
・「目的地まで時間がかかるから」が最も多く 58.0%、次いで「商業施設が充実していないから」が 37.7%、「医療サービスが充実していないから」が 22.2%となっている。

【主なその他回答（記述を一部集約）】

交通の便が悪い（車がないと生活できない）（9）、実家や故郷へ帰る（6）、道路環境が悪い（3）、福祉の都合のため（3）、その他（3）

3. 三木市の魅力・住みよさについて

問 12 三木市の魅力はどういった点であるか（複数回答）

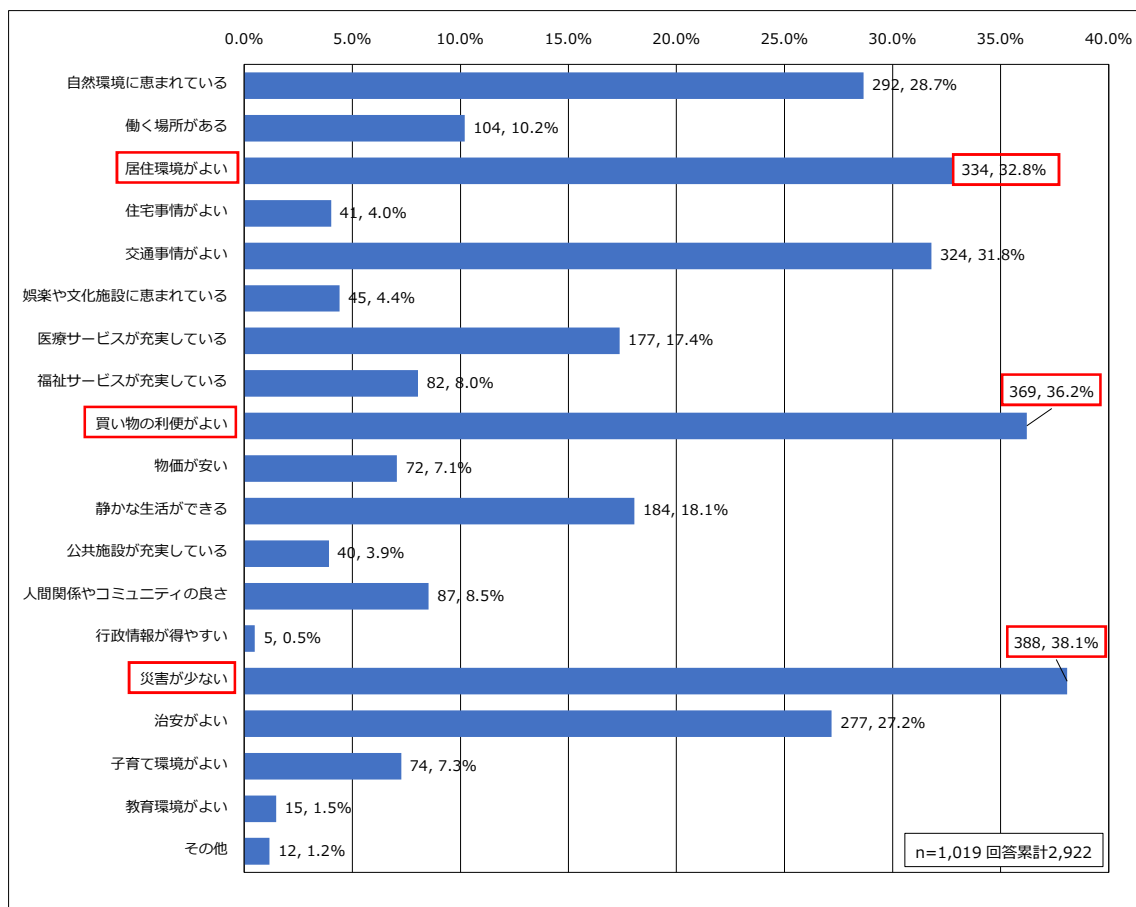


- ・「災害が少ない」が最も多く 58.6%、次いで「豊かな自然環境」が 44.1%、「静かな住環境」が 41.8%となっている。
- ・一方、「公共施設が充実している」が最も少なく 1.0%、次いで「教育環境が良い」が 1.2%、「働きやすい」が 1.5%となっている。

【主なその他回答（記述を一部集約）】

個人的な理由（自宅がある、知人が居るなど）（5）、祭り（3）、神戸に近い（2）、その他（3）

問 13 あなたにとって「住みよさ」とは何か（複数回答）



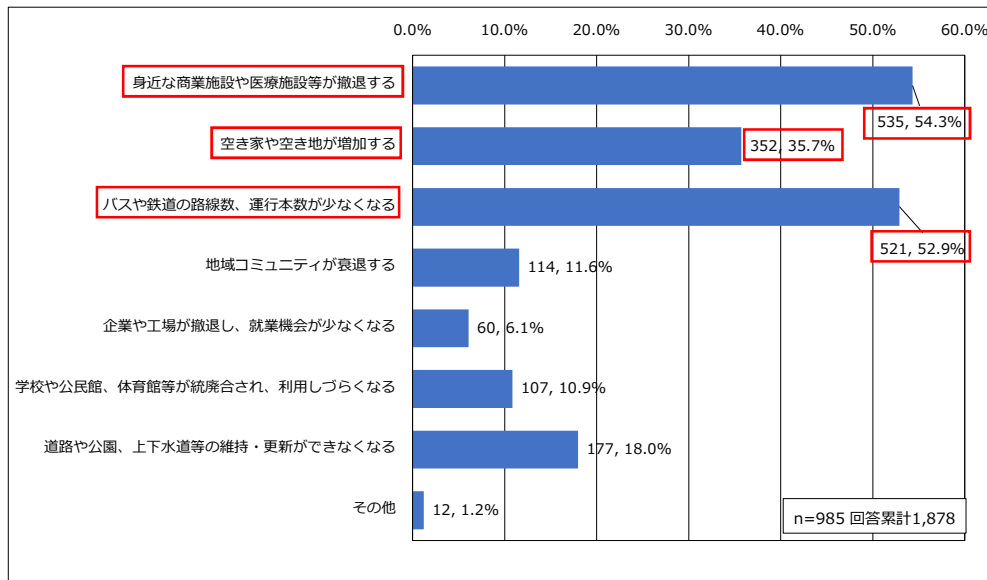
- ・「災害が少ない」が最も多く 38.1%、次いで「買い物の利便が良い」が 36.2%、「居住環境が良い」が 32.8%となっている。
- ・一方、「行政情報が得やすい」が最も少なく 0.5%、次いで「その他」が 1.2%、「教育環境が良い」が 1.5%となっている。

【主なその他回答（記述を一部集約）】

最低限の医療がある、市役所の対応が良い、他人に干渉されない、適切なごみ回収システムがある

4. 将来の希望や不安について

問 14 人口減少・高齢化の進行により生じる問題に対する不安（複数回答）



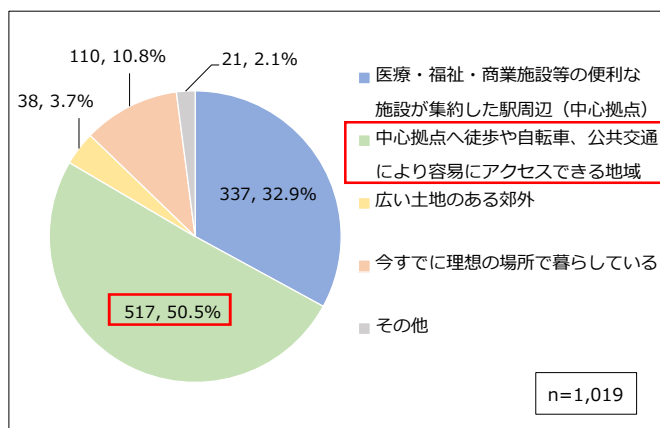
- ・「身近な商業施設や医療施設等が撤退する」が最も多く 54.3%、次いで「バスや鉄道の路線数、運行本数が少なくなる」が 52.9%、「空き家や空き地が増加する」が 35.7%となっている。

【主なその他回答（記述を一部集約）】

財政難 (2)、福祉の削減 (2)、自治会についての懸念 (2)、外国人流入、公共交通の撤退、わからない

問 15 将来どのような場所で暮らしたいと思うか

・「中心拠点へ徒歩や自転車、公共交通により容易にアクセスできる地域」が最も多く50.5%、次いで「医療・福祉・商業施設等の便利な施設が集約した駅周辺(中心拠点)」が32.9%、「すでに理想の場所で暮らしている」が10.8%となっている。



【「今すでに理想の場所で暮らしている」の主な具体的回答（記述を一部集約）】

(具体的な地名があげられている回答)

青山 (6)、緑が丘 (5)、平田 (4)、自由が丘 (2)、別所 (2)、末広 (2)、
緑が丘や青山、大村、加佐東、松ヶ丘、恵比須駅近く、志染駅周辺

(その他の回答)

生活利便施設が近い (22)、現在の居住地域 (14)、住環境が良い・静か (10)、
自然が豊か (3)、その他 (9)

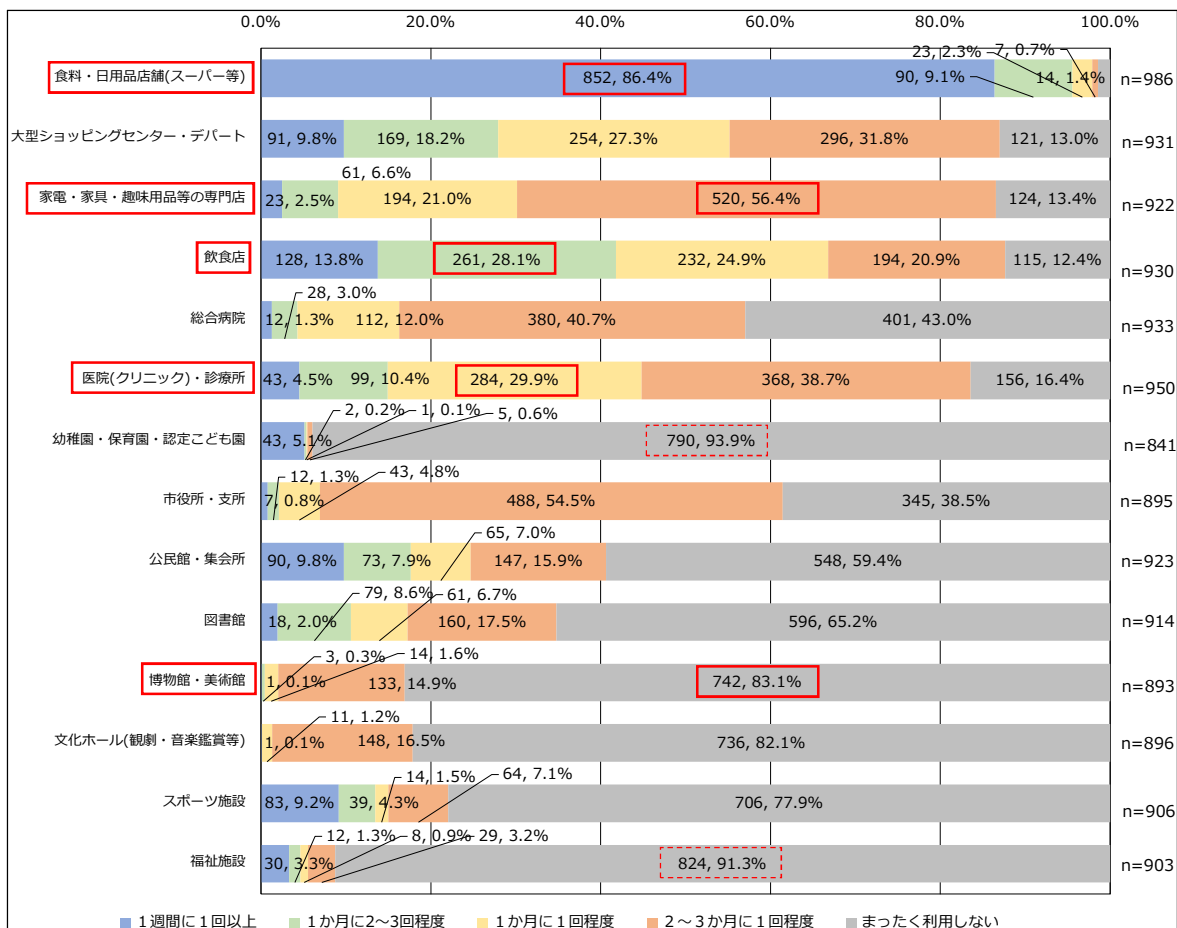
【主なその他回答（記述を一部集約）】

今のままでよい (6)、子のところに行く (2)、施設 (2)、集合住宅、
生活利便施設が近いところ、道路環境がよいところ、自給自足できるところ、
適切なごみ回収システムがあるところ、その他 (3)

5. 日々の生活の場について

問 16 日常生活の中で利用する施設

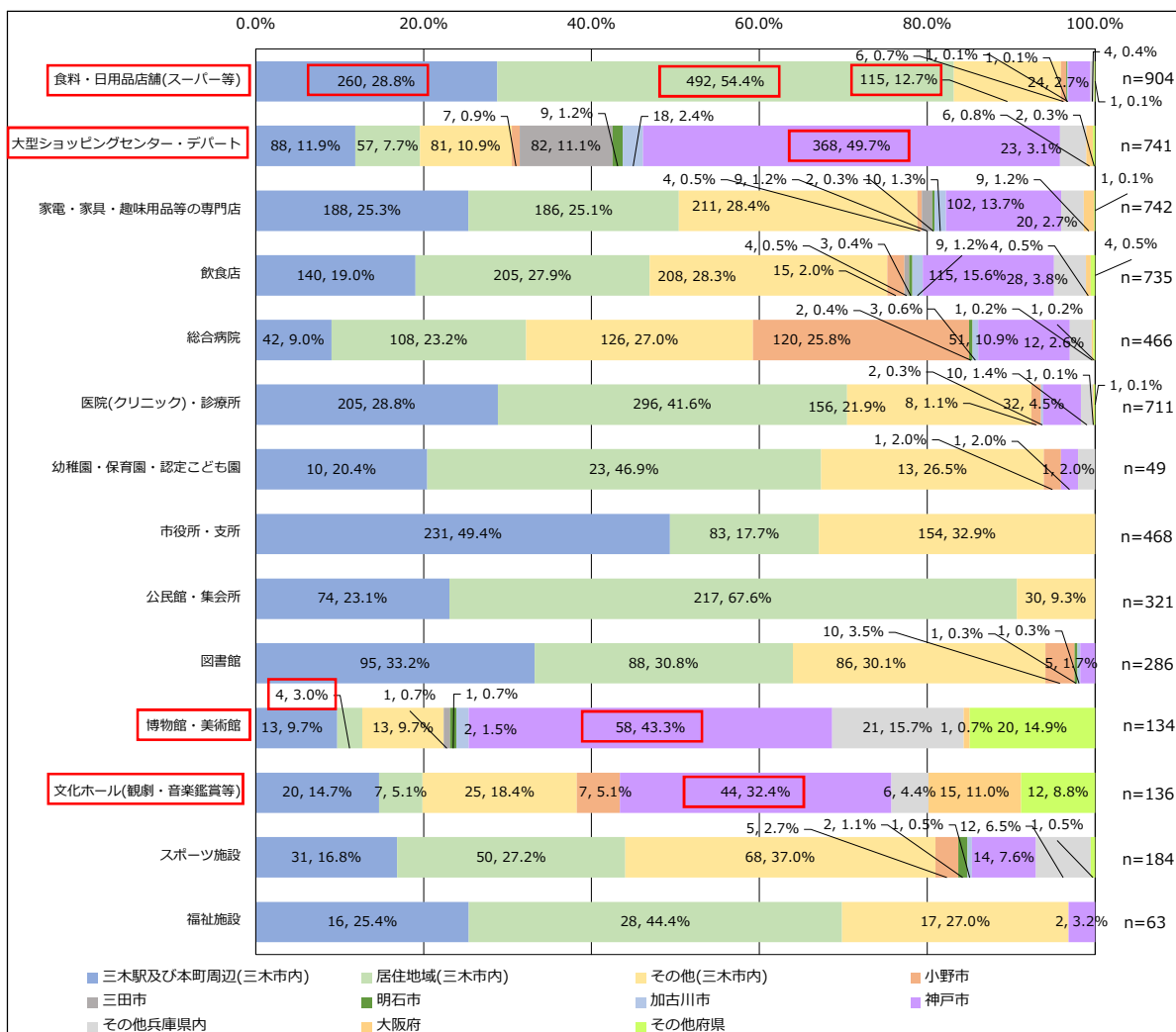
【利用頻度】



利用頻度ごとに最も割合が多い項目を見ると、「1週間に1回以上」は「食料品・日用品店舗（スーパー等）」で86.4%、「1ヶ月に2~3回程度」は「飲食店」で28.1%、「1ヶ月に1回程度」は「医院（クリニック）・診療所」で29.9%、「2~3ヶ月に1回程度」は「家電・家具・趣味用品等の専門店」で56.4%となっている。

「まったく利用しない」は「幼稚園・保育園・認定こども園」が最も多く93.9%、次いで「福祉施設」の91.3%であるが、これらは回答者の年代や世帯構成から利用者が居ないことが考えられるため、年代や世帯構成を問わず「まったく利用しない」と回答が多かった施設は、「博物館・美術館」で83.1%となっている。

【主な場所】

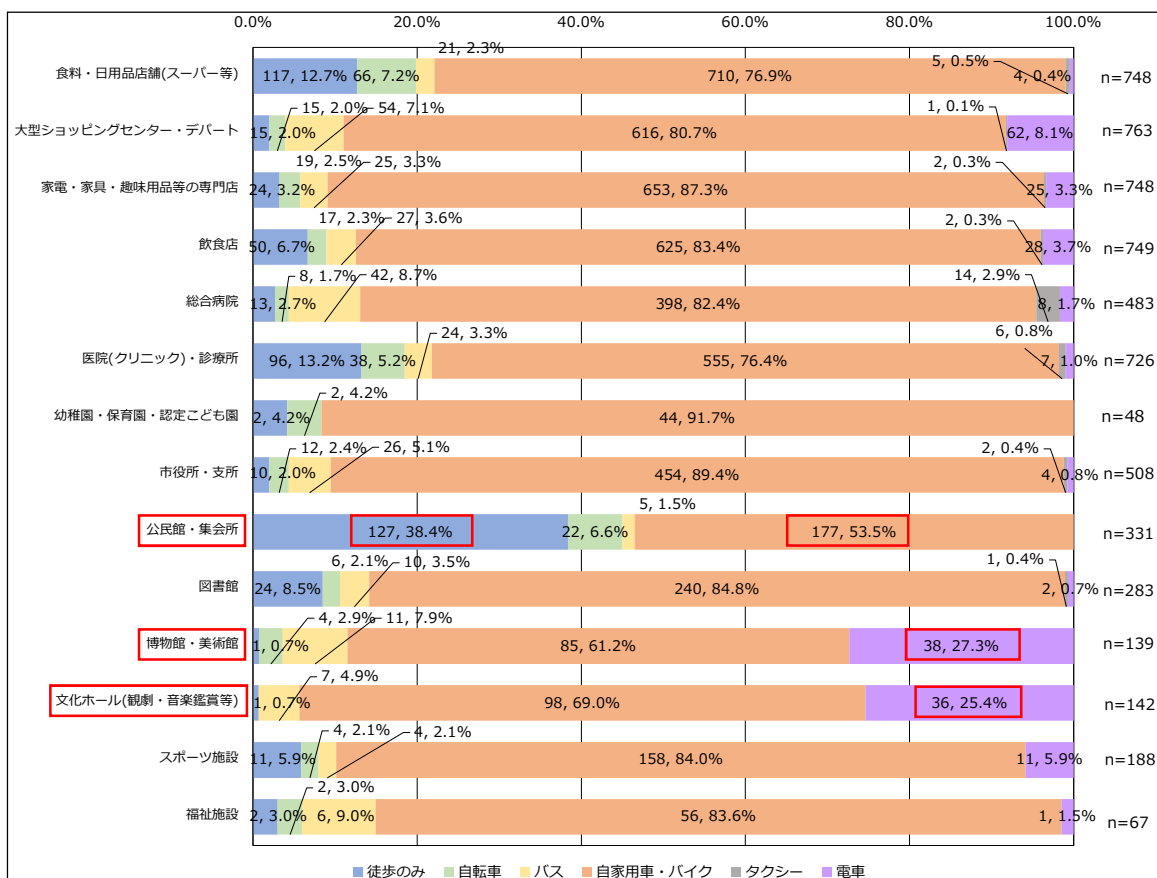


「食料・日用品店舗(スーパー等)」は「居住地域(三木市内)」が54.4%と半数以上であり、「三木駅及び本町周辺」が28.8%、「その他(三木市内)」が12.7%と、ほぼすべてが三木市内での利用となっている。

一方で、「居住地域(三木市内)」での利用が最も少ない項目は「博物館・美術館」の3.0%、次いで「文化ホール(観劇・音楽鑑賞)」の5.1%、「大型ショッピングセンター・デパート」の7.7%となっている。

また、「大型ショッピングモール・デパート」、「博物館・美術館」、「文化ホール(観劇・音楽鑑賞)」については神戸市での利用が最も多く、それぞれ49.7%、43.3%、32.4%となっている。

【主な移動手段】



主な移動手段は、どの施設においても「自家用車・バイク」が最も多くなっており、その割合が最も少ない「公民館・集会所」でも53.5%と半数を超えている。

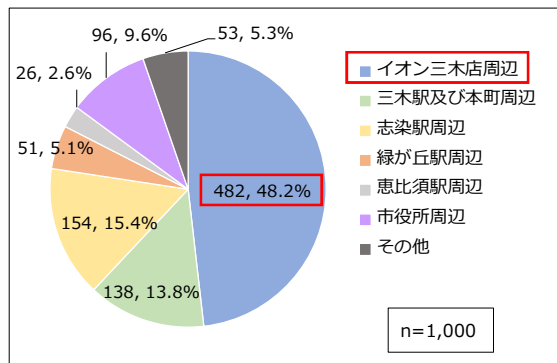
また、「公民館・集会所」では、「徒歩のみ」の割合が他の項目と比べて突出して多く、38.4%となっている。

神戸市での利用が多い「博物館・美術館など」、「文化ホール(観劇・音楽鑑賞等)」では、「電車」の割合が目立ち、それぞれ27.3%、25.4%となっている。

6. 三木市の今後のまちづくりについて

問 17 あなたの考える三木市の中心的な場所はどこか

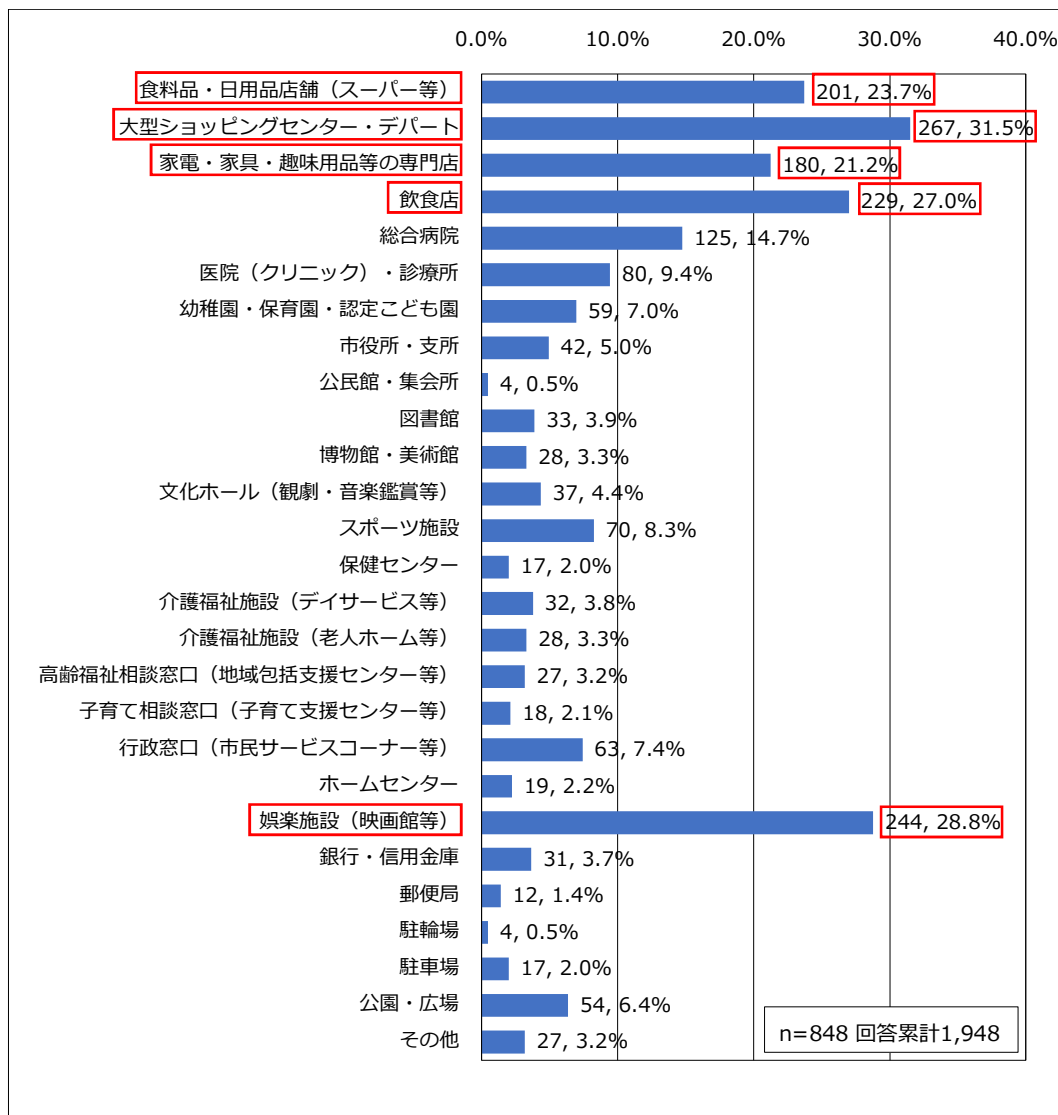
- ・「イオン三木店周辺」が最も多く48.2%、次いで「志染駅周辺」が15.4%、「三木駅及び本町周辺」が13.8%となっている。



【主なその他回答（記述を一部集約）】

中心がない・バラバラ (25)、青山（イオン青山）(9)、青山 (4)、緑が丘、大村、別所、わからない (4)、その他 (5)

問 18 充実させたい施設 (1) イオン三木店周辺 (複数回答)



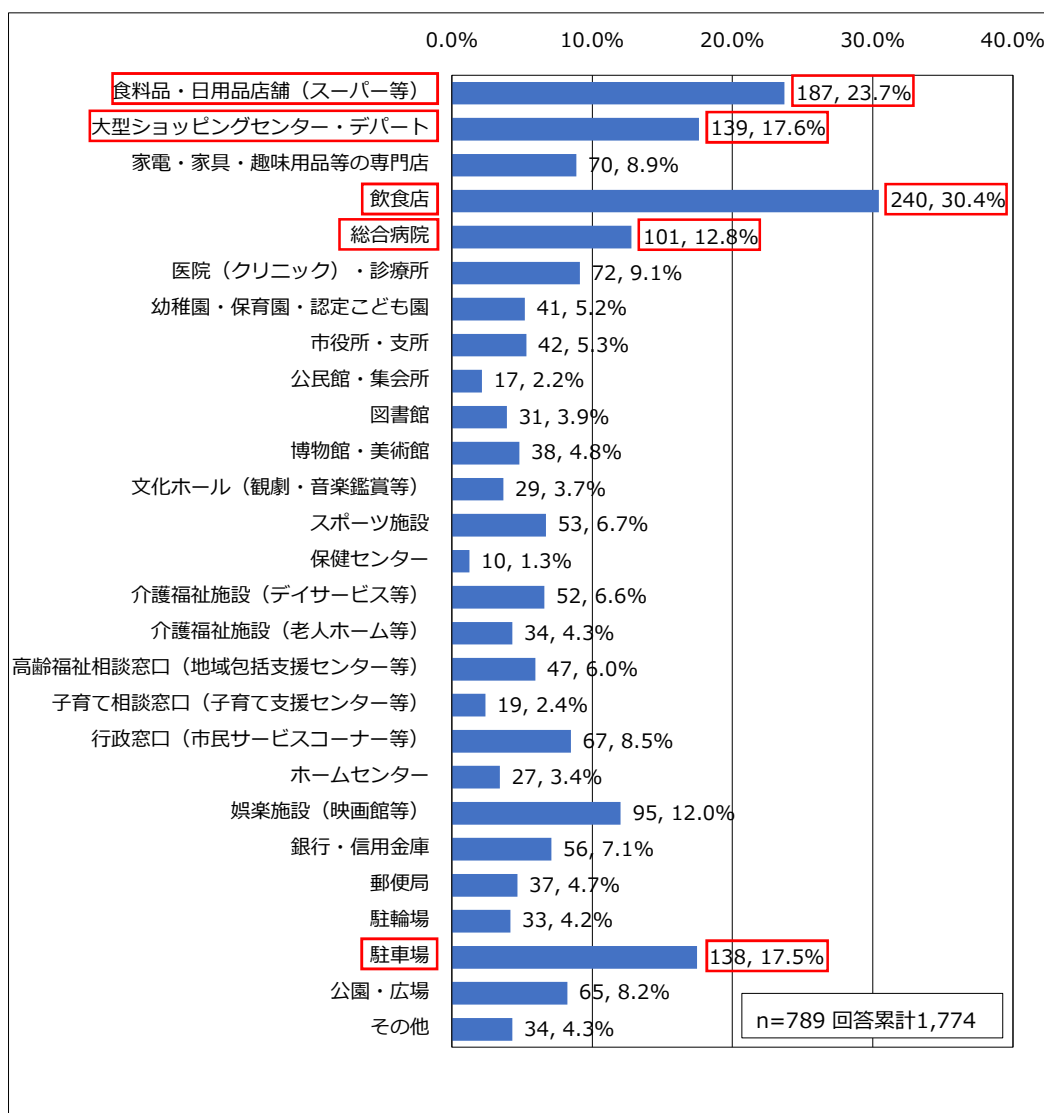
イオン三木店周辺で充実させたい施設の上位5項目は、以下の通りである。

- 「大型ショッピングセンター・デパート」 (31.5%)
- 「娯楽施設 (映画館等)」 (28.8%)
- 「飲食店」 (27.0%)
- 「食料品・日用品店舗 (スーパー等)」 (23.7%)
- 「家電・家具・趣味用品等の専門店」 (21.2%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

駅・バス停 (5)、交番、避難施設、企業、カーシェアリング、
今のままでよい (8)、わからない (5)、その他 (2)

問 18 充実させたい施設 (2) 三木駅及び本町周辺 (複数回答)



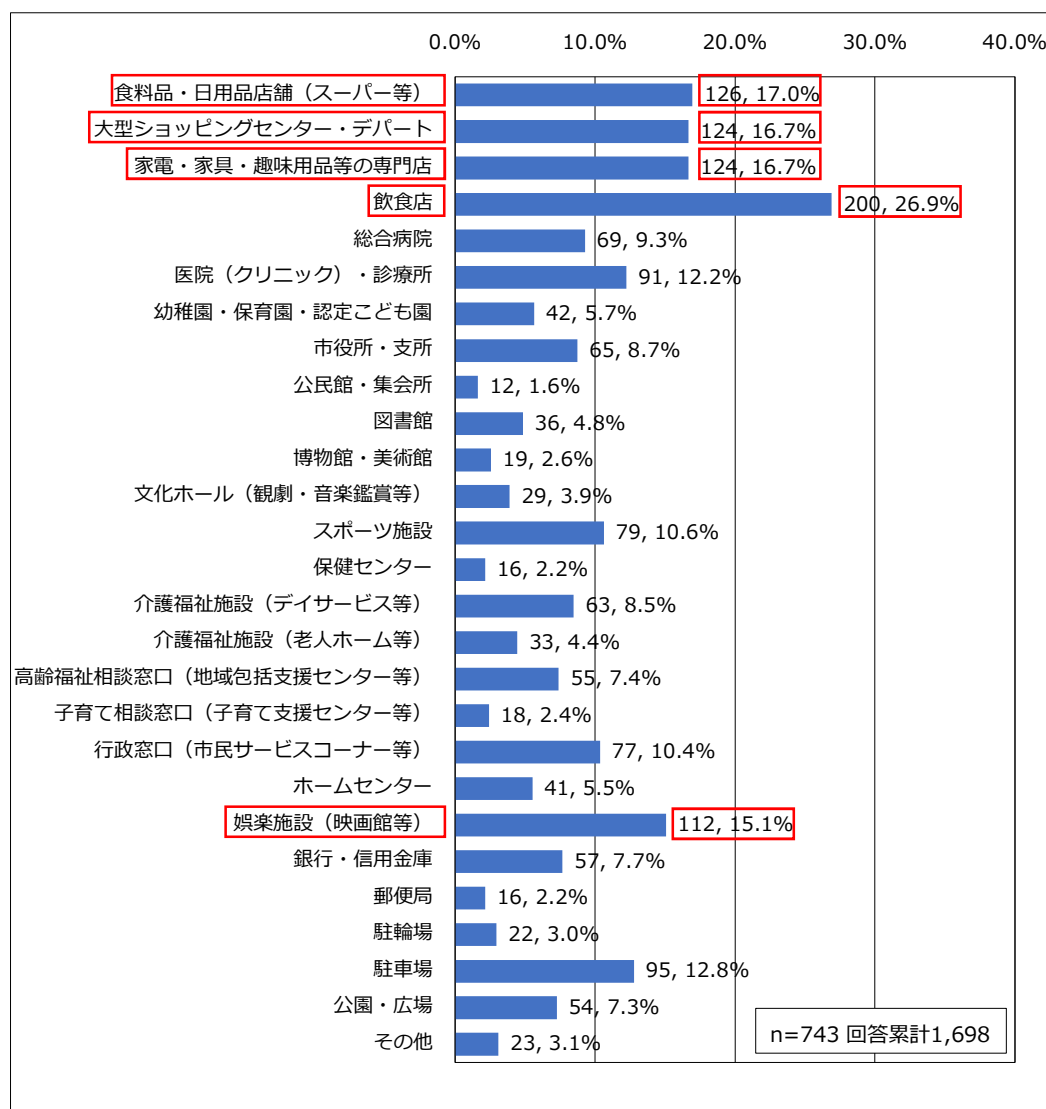
三木駅周及び本町周辺で充実させたい施設の上位 5 項目は、以下の通りである。

- 「飲食店」 (30.4%)
- 「食料品・日用品店舗 (スーパー等)」 (23.7%)
- 「大型ショッピングセンター・デパート」 (17.6%)
- 「駐車場」 (17.5%)
- 「総合病院」 (12.8%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

コンビニ (4)、道路 (2)、観光施設 (3)、避難施設、宿泊施設、住宅地、
 駐車場に屋根、アートモニュメント、
 今のままでよい (4)、わからない (4)、その他

問 18 充実させたい施設 (3) 志染駅周辺 (複数回答)



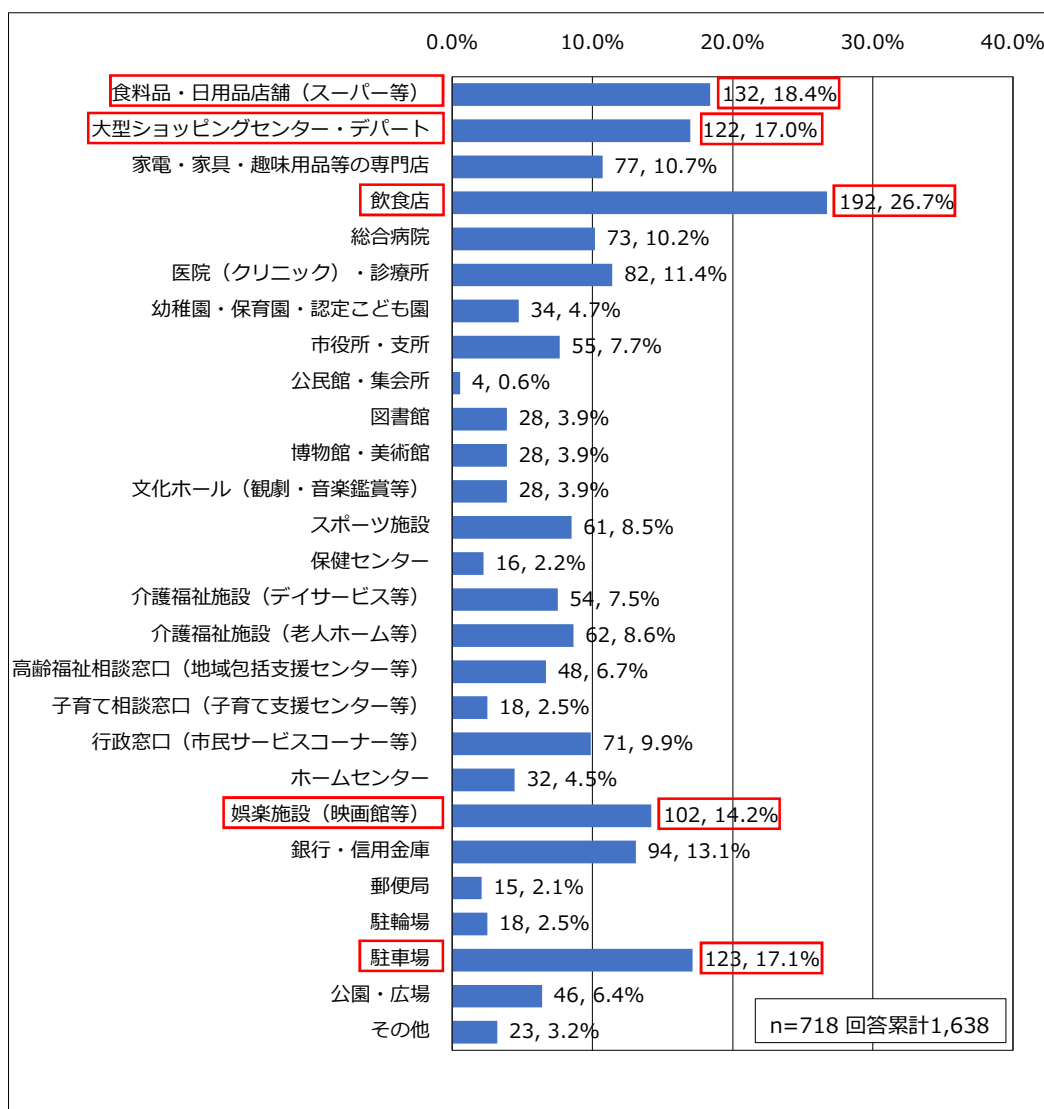
志染駅周辺で充実させたい施設の上位5項目は、以下の通りである。

- 「飲食店」(26.9%)
- 「食料品・日用品店舗(スーパー等)」(17.0%)
- 「大型ショッピングセンター・デパート」(16.7%)
- 「家電・家具・趣味用品等の専門店」(16.7%)
- 「娯楽施設(映画館等)」(15.1%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

駅前開発 (3)、駅・バス停、避難施設、金物関係の施設、若者が集う街・エリア、道路、今のままでよい (3)、わからない (4)

問 18 充実させたい施設 (4) 緑が丘駅周辺 (複数回答)



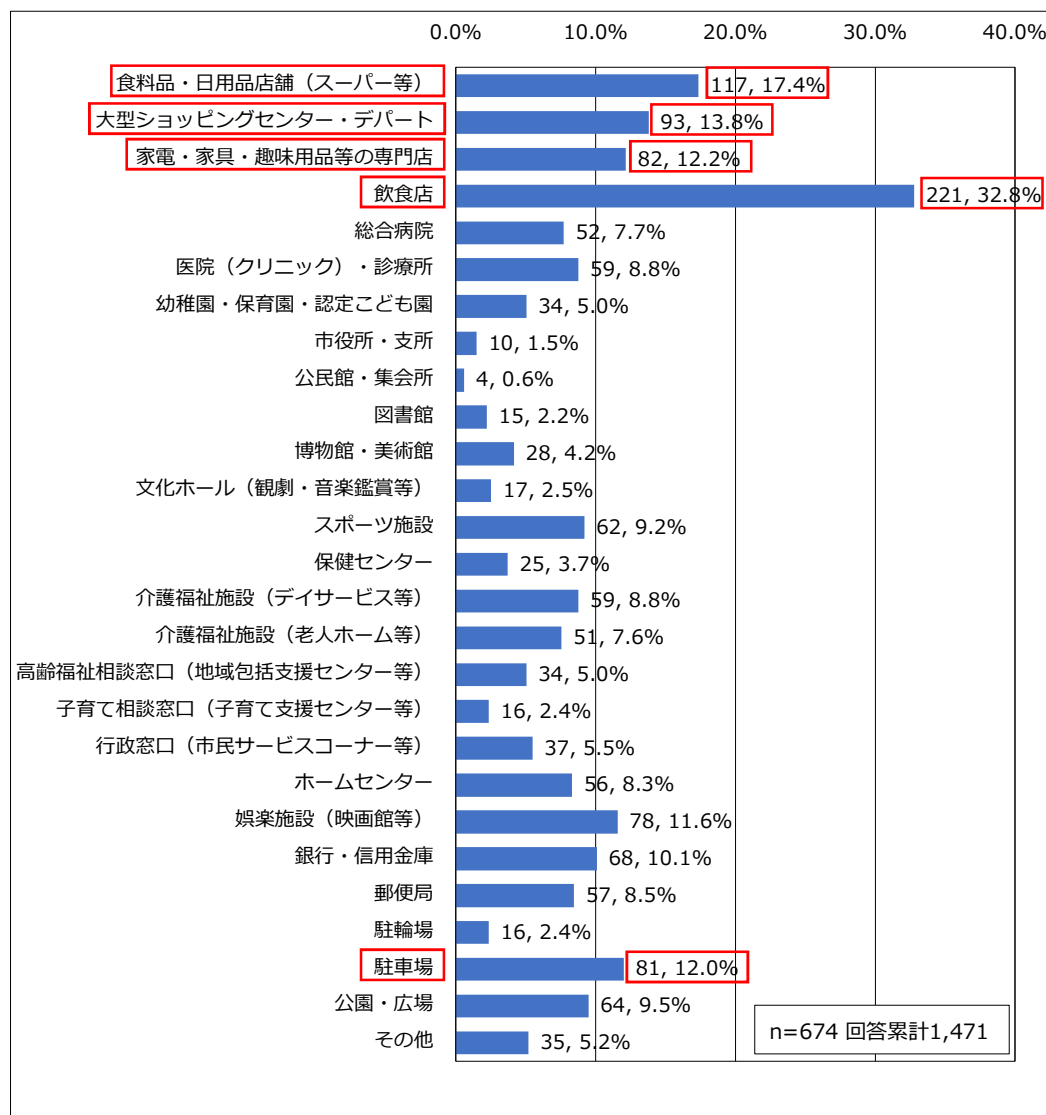
緑が丘駅周辺で充実させたい施設の上位5項目は以下の通りである。

- 「飲食店」(26.7%)
- 「食料品・日用品店舗(スーパー等)」(18.4%)
- 「駐車場」(17.1%)
- 「大型ショッピングセンター・デパート」(17.0%)
- 「娯楽施設(映画館等)」(14.2%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

駅・バス停、駅前開発、宿泊施設、避難施設、歩道 (自転車置場から駅)、コンビニ、今のままでよい (4)、わからない (4)

問 18 充実させたい施設 (5) 恵比須駅周辺 (複数回答)



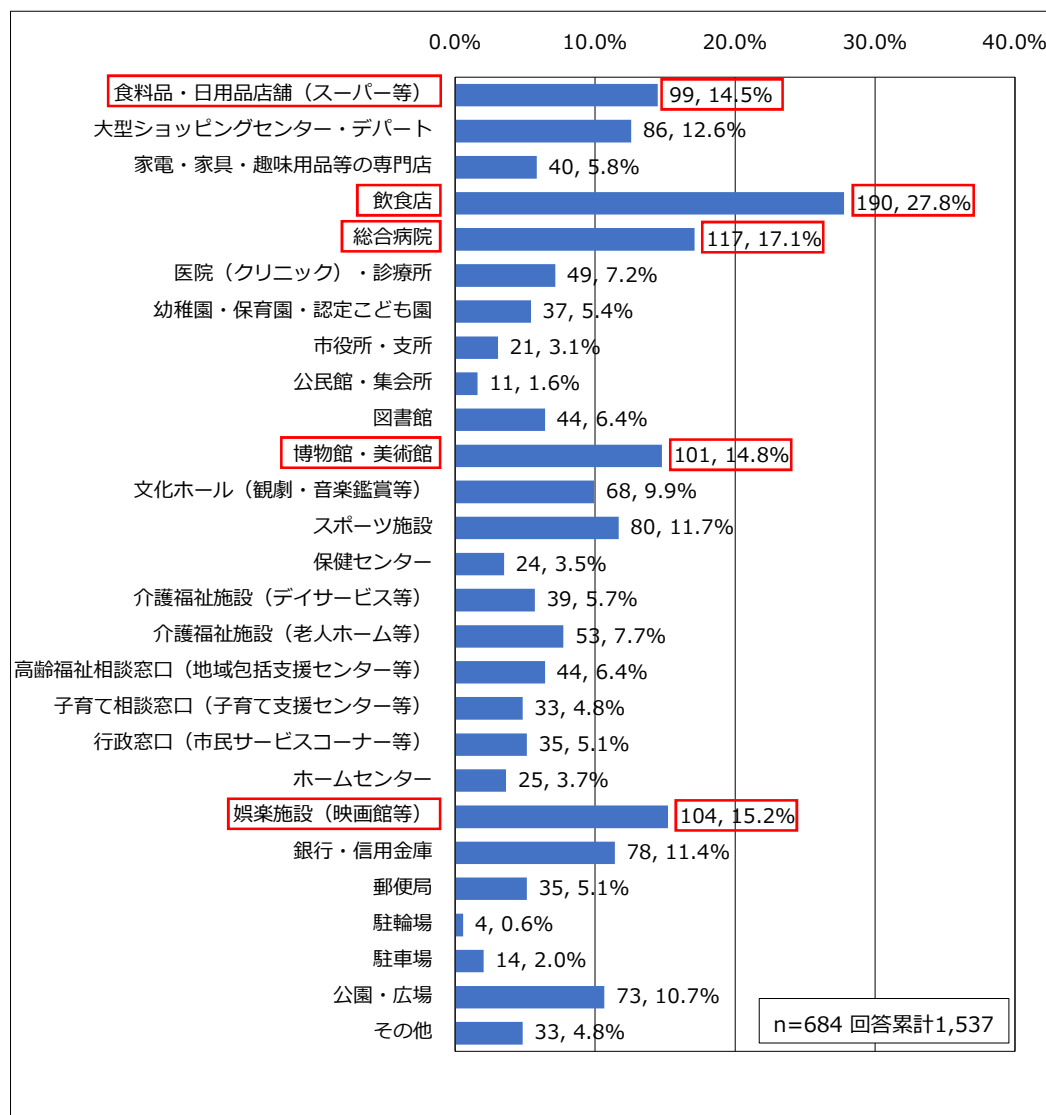
恵比須駅周辺で充実させたい施設の上位5項目は以下の通りである。

- 「飲食店」(32.8%)
- 「食料品・日用品店舗(スーパー等)」(17.4%)
- 「大型ショッピングセンター・デパート」(13.8%)
- 「家電・家具・趣味用品等の専門店」(12.2%)
- 「駐車場」(12.0%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

道路 (3)、観光施設 (2)、駅・バス停、避難施設、障害者福祉施設
今のままでよい (9)、わからない (6)

問 18 充実させたい施設 (6) 市役所周辺 (複数回答)



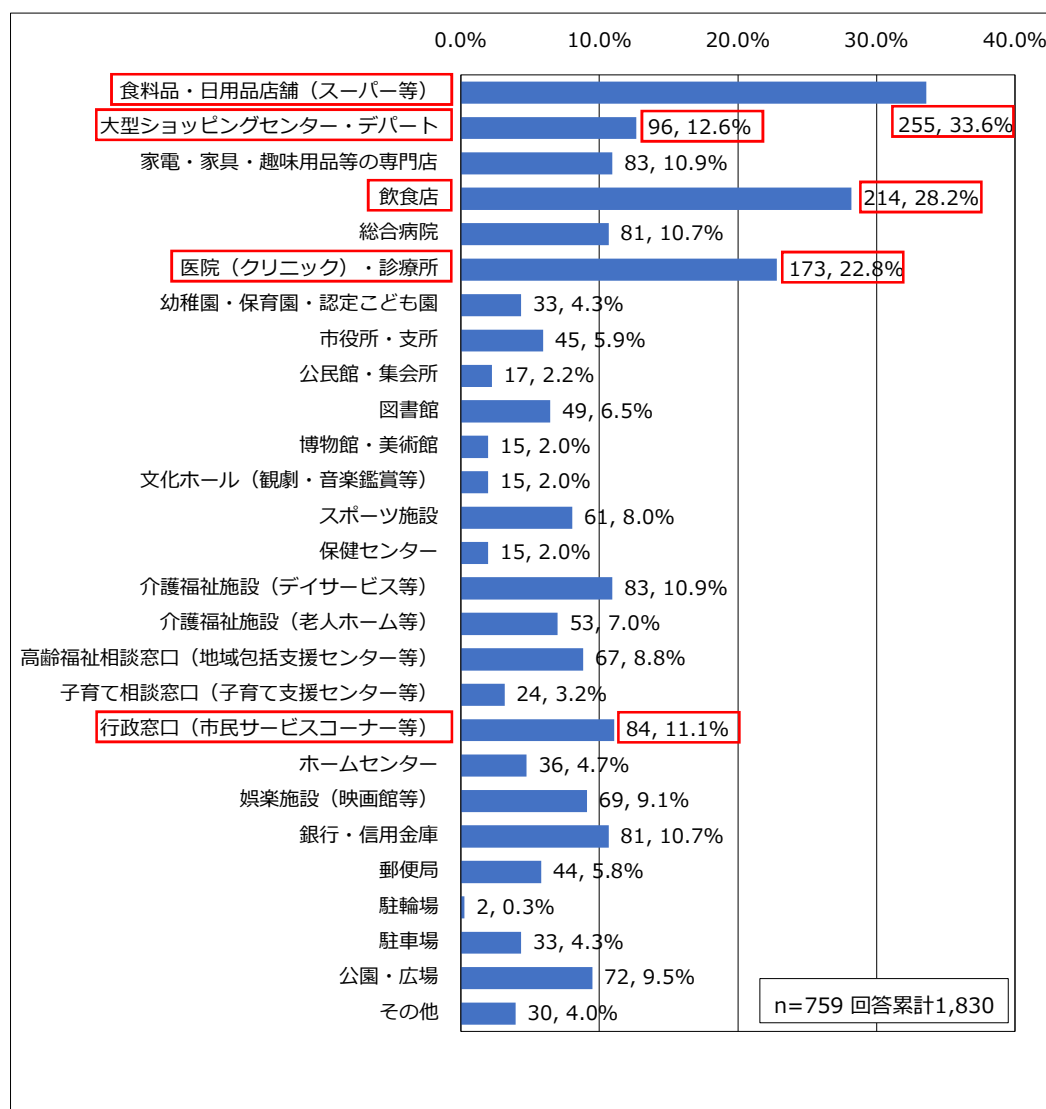
市役所周辺で充実させたい施設の上位5項目は以下の通りである。

- 「飲食店」(27.8%)
- 「総合病院」(17.1%)
- 「娯楽施設(映画館等)」(15.2%)
- 「博物館・美術館」(14.8%)
- 「食料品・日用品店舗(スーパー等)」(14.5%)

【主なその他回答(記述を一部集約)】

駅・バス停(4)、コンビニ(3)、避難施設、障害者福祉施設、産直販売所、ATM、手すり(どの施設かは不明)、今のままでよい(9)、わからない(2)

問 18 充実させたい施設 (7) ご自宅周辺 (複数回答)



自宅周辺で充実させたい施設の上位5項目は以下の通りである。

- 「食料品・日用品店舗 (スーパー等)」 (33.6%)
- 「飲食店」 (28.2%)
- 「医院 (クリニック)・診療所」 (22.8%)
- 「大型ショッピングセンター・デパート」 (12.6%)
- 「行政窓口 (市民サービスコーナー等)」 (11.1%)

【主なその他回答 (記述を一部集約)】

駅・バス停 (3)、コンビニ (3)、避難施設、住宅地、宿泊施設、自習室、カーシェアリング、今のままでよい (8)、わからない

(1) ～ (7) のそれぞれで挙げられた上位 5 項目の施設は、次の通りである。

場所	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
(1) イオン三木店周辺	大型ショッピングセンター・デパート (31.5%)	娯楽施設 (映画館等) (28.8%)	飲食店 (27.0%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (23.7%)	家電・家具・趣味用品等の専門店 (21.2%)
(2) 三木駅及び本町周辺	飲食店 (30.4%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (23.7%)	大型ショッピングセンター・デパート (17.6%)	駐車場 (17.5%)	総合病院 (12.8%)
(3) 志染駅周辺	飲食店 (26.9%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (17.0%)	大型ショッピングセンター・デパート (16.7%)	家電・家具・趣味用品等の専門店 (16.7%)	娯楽施設 (映画館等) (15.1%)
(4) 緑が丘駅周辺	飲食店 (26.7%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (18.4%)	駐車場 (17.1%)	大型ショッピングセンター・デパート (17.0%)	娯楽施設 (映画館等) (14.2%)
(5) 恵比須駅周辺	飲食店 (32.8%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (14.7%)	大型ショッピングセンター・デパート (13.8%)	家電・家具・趣味用品等の専門店 (12.2%)	駐車場 (12.0%)
(6) 市役所周辺	飲食店 (27.8%)	総合病院 (17.1%)	娯楽施設 (映画館等) (15.2%)	博物館・美術館 (14.8%)	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (14.5%)
(7) ご自宅周辺	食料品・日用品 店舗(スーパー等) (33.6%)	飲食店 (28.2%)	医院(クリニック)・診療所 (22.8%)	大型ショッピングセンター・デパート (12.6%)	行政窓口(市民サービスコーナー等) (11.1%)

表をみると、(2) から (5) の駅周辺と (7) ご自宅周辺で、「飲食店」及び「食料品・日用品店舗(スーパー等)」が多くなっている。特に駅周辺での「飲食店」の割合は、2 位以下を大きく離していることがわかる。

問 17 で三木市の中心として最も多く挙げられた (1) イオン三木店周辺では、「大型ショッピングセンター・デパート」や「娯楽施設 (映画館等)」といった、比較的規模が大きい施設が目立っている。

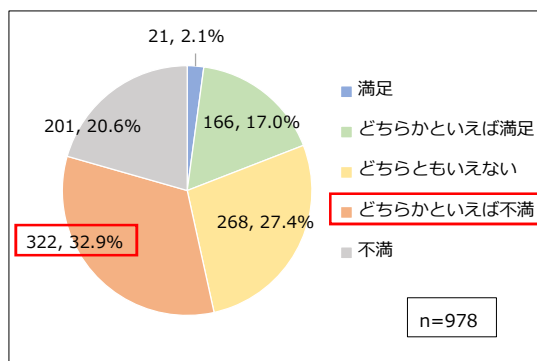
また、(6) 市役所周辺は、「総合病院」や「博物館・美術館」といった、比較的規模が大きい医療施設及び文化施設が上位となっている。これは周辺に公共施設が建ちなっていることが影響しているのではないかと考えられる。

(7) ご自宅周辺では「医院(クリニック)・診療所」、「行政窓口(市民サービスコーナー等)」の、日常生活でいざという時に必要となる医療施設、公共施設が上位に挙げられている。

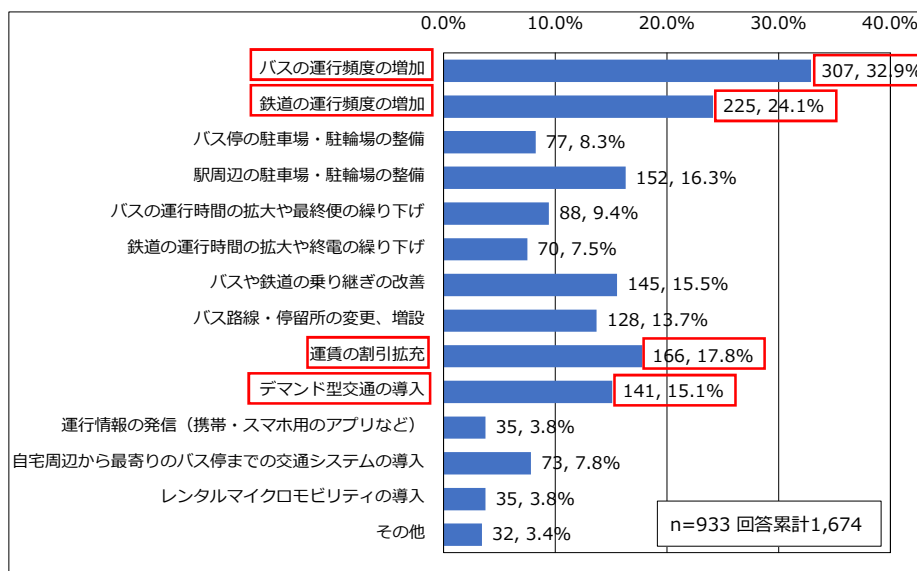
7. 三木市の公共交通について

問 19 公共交通の利便性についての満足度

- ・「どちらかといえば不満」が最も多く 32.9%、次いで「どちらともいえない」が 27.4%、「不満」が 20.6%となっている。
- ・「不満」、「どちらかといえば不満」を合わせると 53.5%となり、半数以上が否定的な評価をしている。



問 20 公共交通の拠点への利便性を高めるために望むこと（複数回答）



- ・「バスの運行頻度の増加」が最も多く 32.9%、次いで「鉄道の運行頻度の増加」が 24.1%、「運賃の割引拡充」が 17.8%となっている。
- ・近年の公共交通でみられる「デマンド型交通の導入」、「運行情報の発信（携帯・スマホ用のアプリなど）」、「自宅周辺から最寄りのバス停までの交通システムの導入」、「レンタルマイクロモビリティの導入」という新しい取組のうち、「デマンド型交通の導入」が 15.1%と比較的多くなっている。

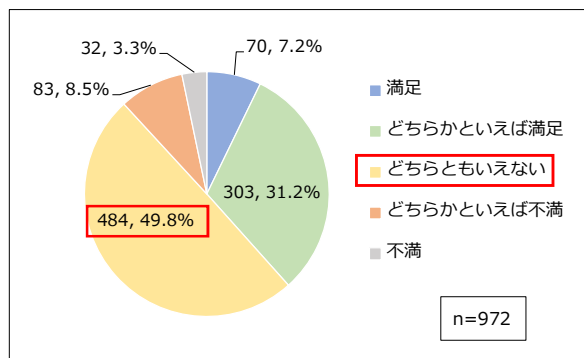
【主なその他回答（記述を一部集約）】

神戸電鉄の設備改善 (4)、鉄道の延伸拡充 (3)、タクシーの充実 (3)、道路整備、駅近くに施設立地、過疎地域の交通アクセスの充実、PR 不足、鉄道は不要、データを利用した公共交通の充実、現状で満足 (3)、利用しない (4)、その他 (3)

8. 三木市の防災に関する取組について

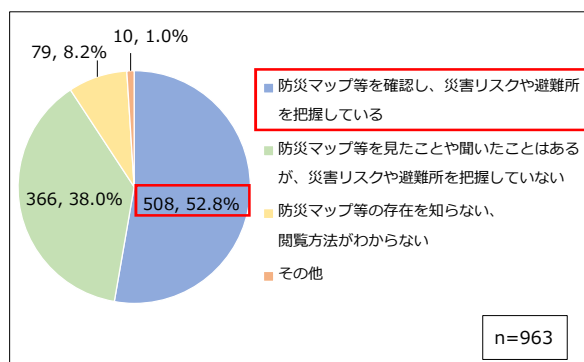
問 21 防災に関する取組への満足度

- ・「どちらともいえない」が最も多く49.8%、次いで「どちらかといえば満足」が31.2%、「どちらかといえば不満」が8.5%となっている。
- ・「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせると38.4%となり、肯定的な評価は全体の4割以下であった。



問 22 自宅周辺の災害リスク・避難所等を確認しているか

- ・「防災マップ等を確認し、災害リスクや避難所を理解している」が最も多く52.8%、次いで「防災マップ等を見たことや聞いたことはあるが、災害リスクや避難所を把握していない」が38.0%、「防災マップ等の存在を知らない、閲覧方法がわからない」が8.2%となっている。
- ・自宅周辺の災害リスク・避難所等の確認、把握は、半数近くができていない。



【主なその他回答】

(避難所について)

- ・避難所は確認しているが、マップ等は知らない。
- ・避難場所だけ知っている。
- ・歩いて遠い
- ・数が少ない、場所がせまい
- ・地下シェルターがない
- ・川が氾らんした時、高台がないけど大丈夫？

(個人的な理由について)

- ・介護者が必要
- ・住んでる場所から移動したくない

9. アンケート結果の総括

問1から問22までの結果を総括すると、以下のとおりとなった。

1. 回答者属性（問1～問6）

3分の2近くが「女性」で、「60歳代以上」が全体の約6割を占めている。

職業は「無職」、「会社員・公務員」、「パート・アルバイト」の順で多く、通勤・通学先は「三木市内」、「神戸市」、「小野市」の順に多くなっている。

居住地域は「三木地域」、「自由が丘地域」、「緑が丘地域」の順に多く、世帯構成は「親・子のみ（単世帯）」と「夫婦のみ」で7割以上となっている。

2. 三木市での居住歴と居住継続意向について（問7～問11）

居住歴は、3分の2近くが「三木市以外の出身だが、現在は三木市に住んでいる」であり、「生まれてからずっと三木市に住んでいる」は2割程度と比較的少ない。

三木市に転入した理由は「住宅取得が容易のため」、「結婚のため」、「進学・転勤・就業のため」の順に多く、三木市のすみやすきについては「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせると8割を超えて肯定的な評価が多く、居住継続意思も、7割弱が「これからも今の地域で暮らし続けたい」と回答している。

三木市内の他地域や市外への転居転出予定者・希望者に対して、転居転出理由を尋ねたが、その回答は「目的地まで時間がかかるから」、「商業施設が充実していないから」、「医療サービスが充実していないから」の順で多くなっている。

3. 三木市の魅力・住みよさについて（問12・問13）

住みよさとは何かを尋ねると「災害が少ない」、「買い物の利便が良い」、「居住環境が良い」の順で多くなっている。また、三木市の魅力として「災害が少ない」、「豊かな自然環境」、「静かな住環境」の順で多く挙げられ、三木市においては「災害の少なさ」と「住環境の良さ」の2点で、市民の意向と地域の魅力が一致していることが分かる。

4. 将来の希望や不安について（問14・問15）

将来どのような場所で暮らしたいかを尋ねると、約半数が「中心拠点へ徒歩や自転車、公共交通により容易にアクセスできる地域」であり、「医療・福祉・商業施設等の便利な施設が集約した駅周辺（中心拠点）」も3割みられた。

一方、人口減少・高齢化の進行により生じる問題に対する不安は、「身近な商業施設や医療施設等が撤退する」、「バスや鉄道の路線数、運行本数が少なくなる」、「空き家や空き地が増加する」の順に多くなっている。

5. 日々の生活の場について（問 16）

8割以上が利用頻度「1週間に1回以上」の「食料品・日用品店舗（スーパー等）」は、ほぼすべてが三木市内での利用となっている。

利用頻度が比較的低い「大型ショッピングモール・デパート」は、約半数が神戸市で利用と回答し、三木市内での利用（約3割）を大きく上回っている。

移動手段は、どの施設においても「自家用車・バイク」が最も多く、その割合が最も少ない「公民館・集会所」でも半数を超えている。

6. 三木市の今後のまちづくりについて（問 17・問 18）

三木市内の6地点のうち、約半数が「イオン三木店周辺」を中心的な場所として考えると挙げ、「志染駅周辺」、「三木駅及び本町周辺」が1割台で続いている。

先に示した6地点と自宅周辺合わせて7地点で、それぞれ充実させたい施設は、駅周辺と自宅周辺で「飲食店」及び「食料品・日用品店舗（スーパー等）」が多く、イオン三木店周辺では「大型ショッピングセンター・デパート」や「娯楽施設（映画館等）」という比較的規模が大きい施設が目立ち、自宅周辺では「医院（クリニック）・診療所」、「行政窓口（市民サービスコーナー等）」が上位となっている。

7. 三木市の公共交通について（問 19・問 20）

公共交通の利便性への満足度は、3割以上が「どちらかといえば不満」であり、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせると半数以上が否定的な評価であった。

公共交通の拠点への利便性を高めるために望むことは、「バスの運行頻度の増加」、「鉄道の運行頻度の増加」、「運賃の割引拡充」の順に多く、近年の公共交通でみられる新しい取組では「デマンド型交通の導入」が比較的多くなっている。

8. 三木市の防災に関する取組について（問 21・問 22）

防災に関する取組への満足度は、約半数が「どちらともいえない」であり、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的な評価は全体の4割以下であった。

自宅周辺の災害リスク・避難所等については、半数以上が「防災マップ等を確認し、災害リスクや避難所を理解している」ものの、4割弱が「防災マップ等を見たことや聞いたことはあるが、災害リスクや避難所を把握していない」、1割弱が「防災マップ等の存在を知らない、閲覧方法がわからない」と回答している。

10. 考察

アンケート結果を踏まえて、三木市立地適正化計画における考察を4つの視点（都市機能、居住、交通、防災）から以下のとおり整理する。

1. 都市機能

転出・転居する（したい）理由として、「商業施設が充実していないから」が全体の2番目に多く、「大型ショッピングモール・デパート」等については神戸市での利用が最も多い状況や三木市の魅力の中で、「医療及び福祉サービスが充実している」等の都市機能施設の集積について低い回答率であり、活力と魅力あふれた拠点の形成が重要である。

2. 居住

各拠点には、主に「飲食店」「食料品・日用品店舗（スーパー等）」等の日常サービス機能の充実が求められる中で、人口減少及び高齢化により「身近な商業施設や医療施設等が撤退する」と懸念されているため、身近な生活圏における居住環境の質の維持及び向上が必要である。

3. 交通

人口減少及び高齢化により「バスや鉄道の路線数、運行本数が少なくなる」懸念や、将来は「中心拠点へ徒歩や自転車、公共交通により容易にアクセスできる地域」に居住したいという回答の多さから、生活拠点と公共交通ネットワークの連携が重要である。

4. 防災

三木市は「災害が少ない」との回答が多いことも要因の一つとして考えられるが、防災に関する取り組みは、十分な周知を得られておらず、災害リスク等を把握していない住民も一定程度いる状況の中で、近年の局地的な豪雨等、不測の事態が発生した場合に混乱が生じる可能性があることから頻発化・激甚化する自然災害への対応策の周知に力を入れる必要がある。